

昔遊びから ふるさを学ぶ



10月29日、鴨川小学校で、三世代ふれあいふるさと学習が開催されました。この活動は、同小の児童や地元の子どもたちが、地域の方々に工作や料理などを教えてもらいながら、ふるさと鴨川のよさを学ぶことが目的です。

今回は、ひもで叩いて回すおもちゃ『ぶち独楽』を作成。子どもたちは、地域の方々と一緒に木を削ったり、やすりをかけたりして交流し、ぶち独楽づくりと独楽まわしを楽しみました。参加した同小4年の清水谷善敬さんは「自分がつくった独楽がきれいに回って、とてもうれしいです」と話していました。

安取雨水ポンプ場 整備に本格着手



11月13日、河高地区の加古川堤防沿いで、安取雨水ポンプ場の整備工事安全祈願祭が行われました。同ポンプ場は、豪雨時

に加古川へ排水できなくなった内水による浸水被害を軽減する施設です。整備するポンプは、25mプール相当分の水を、約2分で加古川に排出できます。安全祈願祭には、河高地区のみなさんや工事関係者約50人が出席。区長の藤本貴樹さん(写真中央)は「河高地区は水害が一番の懸案。被害の軽減と災害対応の負担軽減のため、早期の完成を願っています」と話しておられました。

映画『鋼の錬金術師』 加東市内でロケ



12月1日(金)公開の映画『鋼の錬金術師』。この映画には、加東市内で撮られたシーンが登場します。

撮影が行われたのは、兵庫県立播磨中央公園と河高交流センターの2箇所。播磨中央公園の並木道・ファンタジーロードでは、佐藤隆太さん(写真右)とディーン・フジオカさん(写真左)が闊歩するシーンが撮影されました。

映画をご覧になられた方は、映画の雰囲気を味わいに、映画をご覧になる前の方は、映画の予習のために、市内のロケ地を巡られてはいかがでしょうか。

マルちゃん杯全日本少年柔道大会 東京武道館



ベスト8 社柔道少年団

ポイント&K O 四国選抜少年少女 空手道選手権大会



小学2年男子の部	準優勝 金山潤熙
小学3年女子の部	優勝 百田万穂
小学3年女子の部	準優勝 佐々木漣
小学4年男子の部	準優勝 別府俊宜
小学5年男子の部	優勝 百田宗一郎
小学5年女子の部	第4位 佐々木蒼奈
小学6年男子の部	第3位 沼田清虎
中学男子軽量級の部	第4位 藤井勇心

(敬称略)

◎全選手とも拳武会館所属・来春の全日本大会出場権獲得。

磨いた美 芸術の秋を演出



11月4日・5日の2日間、滝野文化会館周辺で、加東市文化連盟祭が開催されました。

文化連盟祭は、作品展・芸能発表・茶席と、色とりどりの催しで、今年も、連盟所属の各団体が、趣向を凝らして日頃の研鑽を披露し、来場者を魅了していました。

100歳おめでとございます



池田政子さん (秋津台)



平井すづさん (東古瀬)

語り合い 地域医療を考える



11月3日、やしろ国際学習塾で、加東市民病院のあり方や加東市における医療について考える『加東市民病院フォーラム』を開催しました。

フォーラムの第1部では、兵庫県立大学大学院教授の筒井孝子さんが医療と介護の動向について講演。加東市民病院を含む地域医療の現状と課題を、他県の状況や国の財政・人口推移などを交えながら、詳しく解説されました。

その後、第2部として、金岡保院長を座長に、小野市・加東市医師会副会長の田淵光さん、加東市区長会長の三木秀文さん、兵庫教育大学大学院教授の浅野良一さん、市内の介護施設・デイホームあやとりの山口雅隆さん、社すみれ園の河合邦彦さんが座談。田淵さんは「加東市民病院がなくなれば、一番困るのは高齢者の生活。医師会としても加東市民病院を応援していきたい」と話しておられ、三木さんは「最期は病院に行くことになる。存続のための努力をしながら、できるだけ続けていってほしい」と話しておられました。これらの話を受け、金岡院長は「職員は、市民の生活を支える使命のため、一丸となって働いてきました。これからも市民のみなさんを支えられる病院であるよう努力しますので、応援していただきたい」とまとめました。

秋のフェスティバル2017



10月28日・29日の2日間、市役所周辺で、秋のフェスティバル2017を開催しました。今年は、台風接近の影響で、屋外イベントを28日のみとするなど、悪天候の中での開催となりましたが、菊花盆栽展や釣り体験、キャラクターショーなど、恒例の秋の楽しみを満喫しようと、会場には多くの来場者が詰めかけました。

優しさの輪 加東で広がる



事業者が、募金付き商品を企画・販売し、その売り上げの一部を赤い羽根共同募金に募金する活動・募金百貨店に、鳥居の車のお探し専門店・有限会社エムアンドワイオートジャパンが、市内で初めて加盟されました。

同社では、車の販売や車検の実施1件ごとに、売り上げの一部を募金しておられます。

10月25日には、加東市共同募金委員会から、同社の桃井智子さん(写真右)に、取り組みの証であるフラッグが贈呈されました。桃井さんは「地域があってこそ、商売ができるということを忘れないために、これからも募金活動を続けていきます」と話しておられました。

これからも 手を取り合って



11月11日、やしろ国際学習塾で、加東市金婚夫婦を祝う会を開催しました。今年、昭和43年に結婚したご夫婦が対象で、当日は36組が参加。式典は、社吹奏楽団のみなさんによる『恋のパカンス』など懐かしの名曲の演奏でスタート。市長のあいさつ・議長による祝辞の後、参加夫婦を代表して、阿江俊英さん・文子さん夫妻(下滝野・写真)が「現代は、人と人とのふれあいが希薄になりました。これからは、わたしたちが、地域の活性化に一役買っていききたい」と、謝辞を通して、これからの歩みへの目標を述べられました。

そのほか、結婚当時の社町・滝野町・東条町を振り返る動画上映、参列者全員による合唱などもあり、終始笑顔があふれる催しとなりました。

まちかどトピックス
TOPICS

身近な話題など、お気軽にご連絡ください。
広報係がカメラを持って伺います。

☎43-0387